

「働くことと人権 若者の就労」

人権のひろば～人権・同和教育シリーズ～



【若者の就労】

国の調査によると、若者の失業率は、他の世代よりも高い状態が続いています。生活のため、社会のために働きたいと思っても働けない若者が、将来に不安を感じ、引きこもりがちになることや、自ら命を絶つことさえもあります。

今後の社会を担っていく存在である若者の就職環境の改善は、見過ごすことのできない問題です。

【地域若者サポートステーション】

このような状況の中、国は「地域若者サポートステーション」事業を実施しており、平成23年には市内に

も「北勢地域若者サポートステーション（ほくサポ）」が開所されました。そこでは就労を希望する若者やその家族の相談に応じるなど、若者が希望する職業に就けるように支援しています。開所以来2,432人（平成25年3月末現在）が利用しており、昨年度は、108人の進路が決定しました。

本市は、このほくサポと情報交換するなど連携し、広報活動などにより支援しています。また、商工会議所との共催で就職セミナーを開催し、企業と求職者のマッチングの機会を提供するなどの活動を行っています。

今後も関係機関と協力しながら、就労に不安や困難を抱える若者が1人でも多く就職できるような取り組みを進めていきます。



北勢地域若者サポートステーション
諏訪栄町3-4 星座ビル2階
(☎359-7280 FAX359-7281)
相談は無料です。

■問い合わせ先
商業勤労課
(☎354-8175 FAX354-8307)

表紙こぼれ話

今年度の表紙のテーマは、「四日市の心に残る風景」です。全12回、四季折々に見ることができる四日市の美しい風景をご紹介します。

今月は、水沢地区の「彼岸花と茶畑」です。



水沢地区は、鈴鹿山脈の麓に位置し、古くからお茶の栽培が盛んで、自然が豊かな地区です。

宮妻峡やもみじ谷といった名所の風景が素晴らしいのはもちろんですが、茶畑が広がり、その傍らに彼岸花が咲く風景もまた、美しいものです。

■おまけショット

新尾平橋付近に咲く彼岸花です。彼岸花は名前のとおり、秋の彼岸（9月下旬）の頃に、田畑や墓地の近くでよく見ることができます。



田畑や墓地の近くでよく見られるのは、ネズミやモグラなど、田畑や墓地を荒らす動物を、彼岸花の有毒な球根で避けようと考えて植えたからと言われています。

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるように、彼岸花が咲く頃には、少し涼しくなり、過ごしやすくなります。彼岸花や秋の草花を探しに、外に出てみてはいかがでしょうか。

■問い合わせ先
広報広聴課
(☎354-8244 FAX354-3974)

CTYとセットでauスマホがお得！



好評受付中！

お申し込みはお近くのauショップにて。

※auスマートバリューはお申し込みが必要です。
※条件など詳しくはau店頭スタッフ・auホームページをご確認ください。
※「スマートバリュー(R)」はイーエムシー株式会社の登録商標です。

☎0120-30-6500 [受付]月～土(日・祝日除く) [窓口]9:30～17:30 [電話]9:00～19:00

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 313,238人 [7月末日現在(前年比-505)] ■火災件数 9件 [7月分(前年比+2)] ■交通事故件数 1,068件 [7月分]